

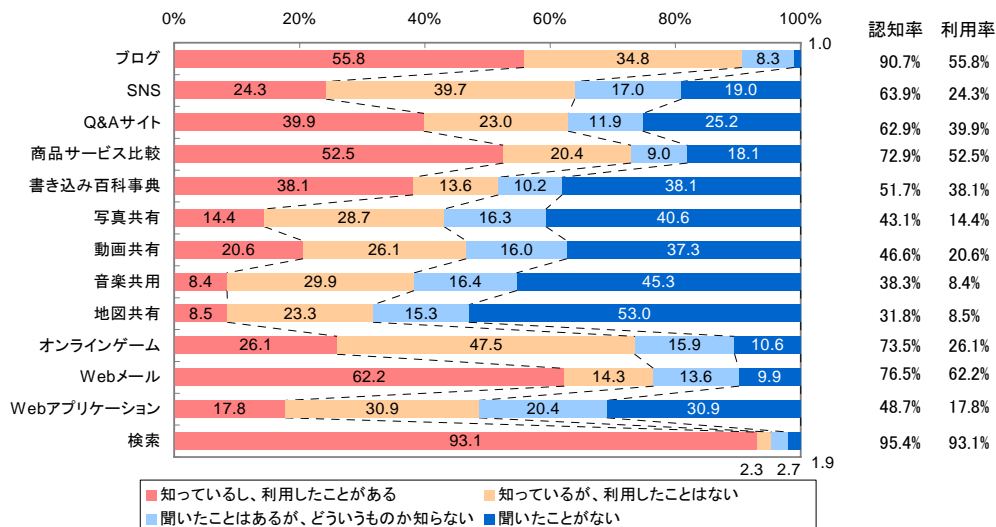
平成19年6月29日
経済産業省

「新たなIT市場の現状と展望」について

経済産業省では、インターネット検索、ブログ、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）、動画共有サービスなど、新たなITサービスについて、産業の競争力や社会生活にもたらすインパクトを可能な限り定量的に把握・分析するとともに、新たなIT市場が着実かつ健全に発展していくために必要な課題について検討して参りました。このたび、この結果を「新たなIT市場の現状と展望」として取りまとめましたので公表いたします。

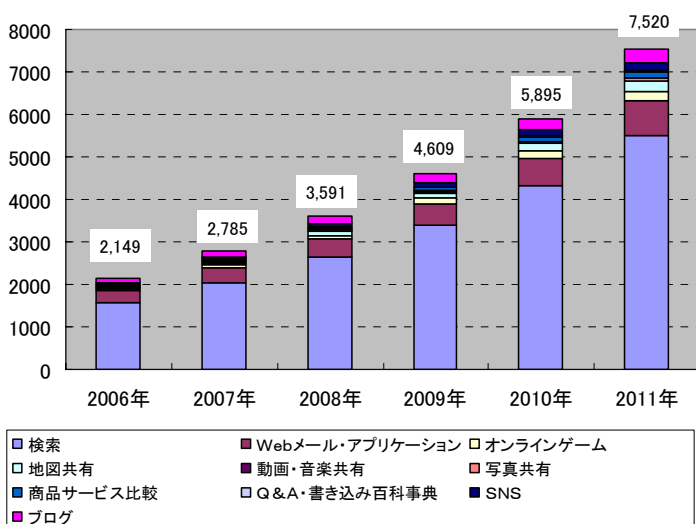
1. 経済産業省では、新たなITサービスの普及の実態を把握することを目的として、代表的な13サービスの認知度や利用率について個人及び企業に対しアンケート調査を実施しました。新たなITサービスの認知度については、「検索」と「ブログ」では90%以上、「Webメール」と「オンラインゲーム」、「商品サービス比較」、「SNS」、「Q&Aサイト」、「書き込み百科辞典」では50%以上との結果を得ました。また、利用率については、「検索」と「Webメール」、「ブログ」、「商品サービス比較」では50%以上であるとの結果を得ました。これらの結果から、新たなITサービスは個人及び企業に広く浸透しつつあることが分かりました。

図1. 個人ユーザにおける新たなITサービスの認知・利用状況



2. さらに、新たなITサービスの将来見通しについて推計した結果、2006年の約2100億円から、その5年後の2011年には約7500億円に拡大するとの結果を得ました。具体的には、2011年において、「検索」が約5500億円（2006年比247%増）、「ウェブアプリ」が約800億円（2006年比220%増）となり、新たなITサービスは、検索サービスを中心に大きく拡大する見込みであることが分かりました。

図2. 新たなITサービスの市場規模推移



3. これらの調査・分析の結果を踏まえ、イノベーションの創出、生産性の向上、安心・安全な情報経済社会の実現、国際的な制度調和等の視点に立つと、今後とも新たなIT市場が着実かつ健全に発展していくためには、例えば以下のような課題について取り組んでいく必要があります。

- ユーザ情報（行動情報）活用と個人情報保護の適正なバランス確保
- コンテンツに係る著作権等に関し、権利配分される側と社会全体の便益の適正なバランス確保
- 機器の接続方法やネット上のマナーなど、ネットを利用する上でのリテラシーの向上

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務情報政策局情報経済課

担当者：山崎、片岡

電話：03-3501-1511 (内線 3961)

03-3501-0397 (直通)